

21世紀に
伝えたい
ちばの魅力 No. 6

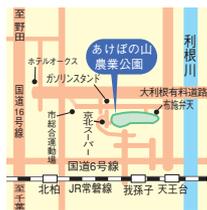
春らんまんの
あけぼの山農業公園



公園のシンボル、オランダ風車と鮮やかなチューリップ畑



さくら山は地元ではサクラの名所として古くから知られています



所在地 ■ 柏市布施2005-2
 ☎ 0471-33-8877
 交通 ■ JR 柏駅・東武野田線柏駅からバス「土谷津入口」下車徒歩10分
 開園時間 ■ 9時～17時 (月曜休園)
 入園料 ■ 無料(施設によっては一部有料)



農業公園ってどんなところ？

あけぼの山農業公園は柏市の北部地域にあり、15万本のチューリップ畑や風車などで親しまれています。柏市は都心まで電車で30分という至近距離にあることから急激な人口増加による都市化が進み、農地との混在化も強まっています。都市型農業の確立が急がれる一方で、都市と農村との交流を図り農業をより身近にするためレジャーと一体化させ、「市民ふれあい農業」の場としてできたのが同農業公園です。

約18ヘクタールの園内は大きく3つのゾーンに分かれています。体験農園ゾーンには風車と花畑があり、市民農園や

体験農園を提供しています。あけぼの山公園ゾーンはさくらの大木が並びさくら山や水生植物園、茶室や日本庭園がある憩いの場。農業公園ゾーンはアスレチックや亜熱帯植物温室のほか、柏市の農業を紹介する資料館や食文化の伝統を体験できる加工実習館があります。

年間を通じてさまざまな花に出会えるだけ



本格的な茶室右奥のある池泉回遊式の日本庭園



田植えやイモ掘りができる体験農園

でなく、農業に触れて理解を深めることができる公園です。また、公園で自転車を借り、近くの利根サイクリングコースでのんびりと季節を楽しむことができます。

【公園で見られる野鳥】

メジロ、ホオジロ、ヒバリ、ムクドリ、ウグイス、モズ、ハクセキレイ、カワセミ、ツグミなど

チューリップの原産地はどこ？

原産地は中央アジアや北アフリカ。名前はトルコ語の「ツルバン(ターバンの意)」に由来します。16世紀にオランダに伝わり、当初は貴族階級にもはやされる高価な花でしたが、現在ではユリ科の球根植物とし

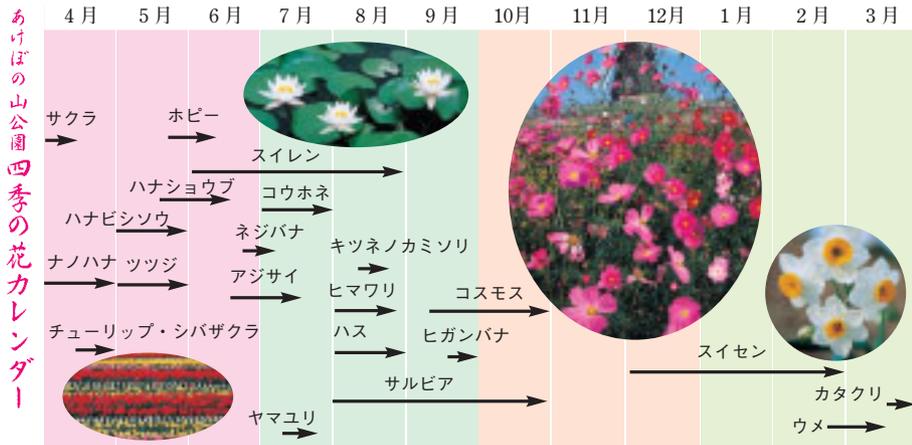
て最もポピュラーな花になりました。

約2,000種もの園芸品種のうち日本で販売されているのは100種程度です。10月に植え付け、十分に寒さに当てないと花芽が生長しません。開花後に花を摘み取るのは、実や種の代わりに球根を育てるためです。国内では富山県、新潟県などで球根栽培が

盛んです。一つの実の中に200～300粒の種が入っていますが、種から育てると花を咲かせるまでに少なくとも5年以上かかってしまいます。



15万本のうちの約4分の1を占める黄色いチューリップ(ゴールデンアペルドン)



ユニークな建築様式の 布施弁財天



公園に隣接する布施弁財天(紅竜山東海寺)は上野不忍、江の島とともに関東三大弁天です。楼門の通り道が3つに分かれているのは、勅願所であった伝統を

重んじたため、中央を正使が、両脇を副使が通りました。下部が石積みで多宝塔風の鐘楼も珍しい建築様式です(本堂とともにいずれも市指定文化財)。1812年(文化9)布施弁財天に詣でた小林一茶の俳文碑が、あけぼの山公園内のさくら山に建てられています。



鐘楼

風車はどう利用されているの？

公園のシンボルであるオランダ式の風車は高さ約17メートル。モーターで回転し、内部に据え付けられた石臼で製粉ができます。房総半島の南部ではすでに昭和初期に風車が使われ始め、再盛期には丸山町や館山市でそれぞれ100台以上がかんがい用に稼働していたようです。現在県内には観光や発電を目的とした風車が、船橋アンデルセン公園、佐倉ふるさと広場、ローズマリー公園、TEPCO新エネルギーパーク、関東国際高校に設置されています。特に佐倉ふるさと広場のものは、日本初のオランダ製水くみ風車です(写真)。

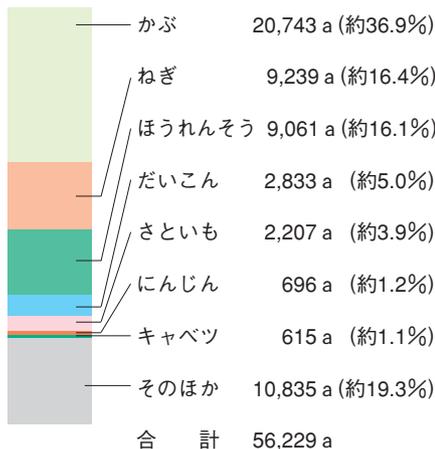


近年はクリーンエネルギーの観点から発電装置として見直され、北海道・苫前町には高さ60.4メートル、羽の直径66メートルの国内最大のものがあります。また現在でも1,000台ほどの風車があるオランダの「キンデルダイクの風車群」は世界遺産に指定されています。

柏市で作っている農作物は？

市の面積72.91平方キロメートルのうち約15パーセントが農地です。水田は利根川流域と手賀沼周辺にあり、畑は標高15~30メートルの台地に多く見られます。平成10年度の農業粗生産額では野菜が8割以上占めています。主な野菜はかぶ、ねぎ、ほうれんそうで合わせて7割近くにのぼり、特にかぶの生産は日本一です。市内西部の豊

●主な野菜の収穫面積 平成10年度



四季地域に普及しているかぶは市の特産物になっています。市ではこうした地元の野菜など自慢の味を多くの人に親しんでもらうため、市民から寄せられたアイデアをもとに市内の業者と協力して、「かしわ工房」のブランド名でさまざまな食品を紹介しています。



「かしわ工房」のほうれん草バスケットとほうれん草入りウインナー。ほかに洋菓子や羊羹、アイスクリームなど。詳しくは柏市経済部商工課まで。

KASHIWAアドベンチャー

手作りの味に舌つづみ

あけぼの山農業公園 加工実習館



味噌や豆腐、餅、そばなどを作るための加工器具がそろった加工室と実習室があります。グループやファミリーで料理を楽しめます。

開館時間◆9時～17時(月曜休館)

利用料金◆1,570円～3,670円

申し込み◆利用日の1か月前から公農事務所で受け付け ★市民向けの体験講座を随時開催

■柏市観光協会 ☎0471-62-3315

■柏市ホームページ

<http://www.city.kashiwa.chiba.jp/>

チューリップを見に行こう



都会の広大なオアシス

県立柏の葉公園

約46ヘクタールの緑豊かな公園。体育館、アスレチック、ポート池、総合運動場などのスポーツ施設のほか、日本庭園、茶室、イタリア庭園、ロックガーデンなど見どころもいっぱいです。特に桜とバラの時期はにぎわいます。

交 通◆JR柏駅からバス20分

★柏の葉公園管理事務所 ☎0471-34-2015

製造行程を楽しく学ぶ

アサヒ飲料(株)柏工場

発売から115周年を迎えた三ツ矢サイダーの主力工場。ジュースやコーヒーなどの工場見学とビデオ解説があります。約1時間。

見学時間◆10時～12時、13時～15時 無料

(土曜・日曜・祝日は休み)

申し込み◆10人以上のグループで要予約

☎0471-32-2101

交 通◆JR北柏駅から徒歩8分

マイブレンドウイスキーづくり

ニッカウイスキー(株)柏工場

専門家からウイスキーづくりやブレンドのコツを学んだ後、6種類の原酒を自分好みにブレンドして持ち帰ることが出来ます。特別な1本を贈り物にしようと思参加する人もいて、女性にも好評です。※工場見学もできます

開催時間◆毎週金曜14時～2時間程度

参加費用◆3,000円

申し込み◆☎0471-72-4111 (1回につき定員20人。先着順、事前に申し込み)

交 通◆東武野田線増尾駅から徒歩18分



日程	イベント(場所)	催し物	問い合わせ先・電話	交 通
4月上旬	チューリップまつり (白子町花の広場)	チューリップ販売、桜模様 えコンテスト、絵画展など	白子町花の広場実行委員会 0475-33-2211	JR本納駅からバス20分、「中央 公民館前」下車徒歩3分
4月上旬 5月6日	春の花祭り (徳武はな宮園)	ピエロのパフォーマンス ショーなど	徳武はな遊園 0479-55-5811	JR倉橋駅下車すぐ
4月7日～ 16日	チューリップまつり (ゆきか花の広場)	特産物の販売、郷土芸能の 発表など	野栄町企画課 0479-67-3111	JR八日市場駅からバス15分、 「前古屋」下車徒歩10分
4月中旬	社会チューリップまつり (成金ふるさと広場)	オランダ民族衣装貸出、屋 形船、特産物の販売など	佐倉市公園緑地課 043-484-1111	京成佐倉駅から徒歩30分 (臨時バス有り)
4月中旬 ～下旬	チューリップフェスティバル (あけぼの山農業公園)	ブラスバンド演奏、北総太 鼓、着ぐるみショーなど	2ページ目をご覧ください	

※催し物は恒例、もしくは前年度のものです。